



市議会だより

3月3日開催の3月定例会にて、「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議」を全会一致で可決



● 市長施政方針に対する代表質問

P.2~4

● 一般質問、9人が市政を問う!

P.4~7

● 令和4年
第2回臨時会、第3回定例会

P.7~10

● 第4回臨時会審議結果

P.11~12

● 新年度予算の審査から
活動報告(総務委員会、議会運営委員会)

P.13

● 議会報告会 YouTube配信について

P.14

市政を問う

代表質問 一般質問

3月定例会における「市長施政方針」に対し、3月2日、3日に6会派が代表質問を行い、市政に関する一般質問は、3月3日、4日、7日に9人の議員が質問に立ちました。各議員の質問と市長を始めとする当局の答弁要旨は次のとおりです。

(質問議員が執筆し、掲載順序は質問順です)

※質問、答弁の詳細は6月1日頃から半田図書館・亀崎図書館等に設置された会議録でご覧いただけます。また、市議会ホームページにも掲載します。

※その他、議員ごとにYouTubeへ直接アクセスできるQRコードを掲載しています。



市長施政方針演説 (You Tube)

問 亀崎地区の無電柱化の目的は何ですか。

答 行政手続きのオンライン化の拡充と自治体システムの標準化を中心に取組んでいきます。時間や手間の軽減など市民サービスの向上につながります。

問 行政のデジタル化を進めようとしていますが、具体的に何をどう変えていきますか。また市民にとってのメリットは何でしょうか。

答 コロナの感染状況や国・県の支援策などを確認したうえで、商工会議所とも連携を図りながら必要な支援策に取組んでいきます。

問 新型コロナウイルスの長期化により地域経済が疲弊した場合、再び地域振興券の配布等の経済対策を行う考えはありますか。

答 新型コロナウイルスの長期化により地域経済が疲弊した場合、再び地域振興券の配布等の経済対策を行う考えはあります。

問 新年度に向けて市長の決意を伺います。未来へ向けた「変革」の第一歩として、私自身が先頭に立ち、市民事業者・行政が一体となり新たなまちづくりを力強く進めていきます。



市長 伊藤正興

問 仲町通りを中心とした良好な景観形成と歩行空間の拡大、災害時の安全な避難路確保です。

答 一日も早く半田北部から新半田病院へアクセスするための「本命の道」を開通させるべきと考えますが、見解を伺います。今後、この問題を市長としてどのように対応しますか。

問 関係機関との協議や県への要望を継続的に行っていますが、阿久比町の野崎交差点付近の課題があり事業化出来ない状況です。アクセス道路としてだけでなく重要な幹線道路でもあるため、阿久比町を含めた関係機関との協議や要望を粘り強く行い、早期の事業化を目指します。

問 「(仮称) 幸せになるための教育を考える会議」について、子ども達のために本当に必要と考えていますか。

答 子ども達は、次代を担う宝であり、夢や希望をもって生き抜いてほしいと考えています。自分の幸せとは何かを自ら考え実現する力を身につけることが必要であることから会議を立ち上げるものであり、予算計上しました。

問 市民討論会について、どのように行いますか。

答 無作為抽出で選ばれた市民が、政策課題について話し合い、意見集約して合意形成を目指す市民参加の仕組みであり、令和5年度から実施予定です。



市民クラブ 嶋崎昌弘

問 令和2年度に策定した、半田市保育園等公民連携更新計画の今後の予定について伺います。

答 原則、建築年月の古い施設から「民営化」「認定こども園化」を基本方針として、次は高根保育園の民営化を検討しています。今後の進捗については3か年実施計画において具現化していきたいと考えています。

問 昨年4月からの家庭系ごみ有料化の導入により、ごみ減量及び資源化実績予測を伺います。

答 ごみ量は、前年度対比27%減少となる見込みです。資源化については、市民の分別意識の高まりで前年度対比15%増加を見込んでいます。

問 高齢者の健康増進に関する協定で認知症

問 新体育館建設について伺います。

答 現体育館の老朽化等を踏まえると、新体育館の必要性は十分認識しています。しかし、建設場所や時期など具体的な計画策定には至っていません。今後、広域での建設の可能性を整理したうえで、建設基本構想の策定に取組みます。

問 防災・減災対策の一環として、空き家の件数、推移及び対策について伺います。

答 空き家件数は、建物の課税情報や水道の利用量の情報から算出して概ね3千件、推移については、令和元年から横ばい傾向であります。対策は、管理不全の空き家の所有者に改修等に向けた指導をしています。今後は空き家を活用することを考え、遊休不動産を流通させる仕組みづくりを進めていきます。



市政を問う 代表質問 (質問議員が執筆しています)



創造みらい半田 石川英之

問 令和4年度の予算案は「変革に向けた、第一歩予算」とのことですが、理想とする姿に変革して次の一歩に繋げるため、どのようなことに重点を置いて取り組んでいくのか伺います。

答 行政が一方的に将来像を描くのではなく、市民、事業者、行政が一体となり共に成長していくことが未来に向けての「変革」への一歩であり、前例踏襲主義を無くしてチャレンジを促す組織へ変えていくことに重点を置いて取り組んでいきます。

問 子育て支援環境知多め新たな会議体を設置することですが、知多半島No.1ではなく、愛知県や東海地区で子育て支援環境No.1を目指してはどうですか。

答 半田市の子育て支援施策の現状を分析し、実施するべき子育て支援施策、また優先順位を検討し事業化していくため会議体を設置します。今後愛知県や東海地区だけでなく、子育て支援環境全国No.1を目指します。

問 令和7年度春に新半田病院は開院予定ですが、半田市北部地域から救急車等のアクセス道路は確実に整備されますか。他の道路整備は考えていますか。またヘリポートが整備予定ですが、ドクターヘリの運用は考えていますか。

答 半田市北部地域から阿久比町内島田橋を経由してのアクセス道路の進捗状況ですが、現在阿久比町と協議しながら道路詳細設計を行っています。他の道路整備ですが、南大矢知町のコンビ二がある交差点から県道西尾知多線を経由し、計画道路大矢知線の整備に向けて、地権者を含めた地域で合意形成を図っている状況です。ドクターヘリの運用は費用やコスト等を調べて、可能か否か検討していきます。

問 市長の思いと覚悟を伺います。

答 職員には失敗を恐れず新しいことにチャレンジすること、責任は全て市長にあると伝えています。「12万半田市民が幸せを実感できる、未来に希望を持てる社会の実現」のため、市長が先頭に立ち、職員一丸となって市政運営に取り組めます。



維新・半田市民の会 中川健一

問 東海市の令和元年3月末女性管理職の割合は26.9%です。一方で半田市の女性管理職は令和3年4月1日の実績はわずか5.7%です。令和4年度の目標値をお尋ねします。

答 単年度の目標値はありませんが、令和7年度までに10%以上を目標に取組めます。

問 市役所での女性管理職の登用を加速させる、との市長選挙公約はどこへ行ってしまったのでしょうか。

答 想像以上に苦しい状況です。もともと管理職適齢期の女性職員が少なく、資格試験などの手続きもあり、簡単に管理職を増やすと言いつ訳にはいかない、と言つ事情もありました。女性が働きやすい環境づくりを先頭に立って取組めます。

問 副市長など幹部職員を公募する、との市長選挙公約も予算化されていません。市長就任後、8カ月経ってもできていない理由を伺います。

答 職員の処遇や担わせる業務、募集方法など検討をしているところです。

問 子育て環境、知多半島No.1を目指すとの選挙公約はそもそも何が問題かについて説明が施政方針にも語られていません。現状の子育て環境の何が問題ですか。

答 場当たりのな子育て支援策の状況が問題と考えています。そこで総合的に分析し、見直しをしたいと思います。子育て支援事業検討会議を設置します。

問 そもそも教育基本法では、人格形成と社会の一員としての国民育成を教育の目標としています。現在の半田市における教育の何を問題と考えていますか。名古屋市の河村市長は学校では学科しか教えていないので、人生を教える力ウンセラを学校へ配属する取組みをしています。

答 感覚的には河村市長に似ている面があります。ただ人生を教えることは教育現場で出来ていないとは思っています。市民が考えていることと教育現場とで意思疎通をはかって行きながら半田市らしいよい教育を作っていきたいと思っています。

問 地域共生社会の実現にあたっての取組みと今後の展開を伺います。

答 令和3年度から、複合的な生活課題をお持ちの方や福祉制度の狭間が必要な支援が届いていない方に対する「アウトリーチ継続的支援事業」を開始するとともに、各分野の支援機関で構成する「ふくしまるごと会議」を開催し、ケース検討や情報交換などを行っています。今後も多様な分野の関係機関との連携を深めていきます。



公明党 坂井美穂

問 久世市長から、市民社会福祉協議会や社会福祉法人、NPO法人などの保健福祉の関係者、行政職員に対して、「オール半田で一緒に地域共生社会を実現しよう」という力強いメッセージを発信して頂きたいと思いますが、見解を伺います。

答 地域共生社会の実現は大事なことです。で、メッセージを発信していきたいと思えます。

問 災害時に自力で避難することが特に難しい、避難行動要支援者を

答 含めた共助の体制づくりについて伺います。

答 毎年、避難行動要支援者名簿を作成し、自治区や民生児童委員などの避難支援関係者に名簿情報を提供しています。その際には、具体的な名簿の活用事例を掲載したマニュアルを配付し、地域の避難訓練における要支援者への参加の呼びかけや、避難所までの同行支援を行うことの必要性について説明しています。今後は市職員が避難訓練の企画段階から参加することなどを通じて、要支援者の避難訓練への参加が全市民的に広がるよう取り組んでいきます。

問 企業版ふるさと納税の獲得について、積極的に行うためのしなげをどのように考えているのかを伺います。

答 業務で関わった企業などに制度のPRや働きかけを行うとともに、他市町の事例を参考に獲得していきます。



市政を問う

代表質問 (質問議員が執筆しています)



志民ネット 小栗佳仁

問 (仮称) 幸せになるための教育を考える会議について伺います。

答 子どもたちが自分にか自ら考え実現する力を身につけるために、教育において何が必要か、何ができるかを議論し提言を頂きたいとするものです。委員は有識者や子育て世代の保護者など5名程度を予定しています。

問 新学校給食センターをどのようか考えているか伺います。

答 最新の衛生管理基準に適合した施設に、新たな調理設備として温度、時間など記録が可能な機器や肘まで洗うことができる手洗い設備を導入し衛生管理の向上を図ります。また、季節の食材や地産食材をより多く取り入れるとともに保温機能のあるコンテナや食缶を導入し、より安心安全で美味しい給食が提供できるようにします。加えて、食物アレルギー対応調理室を設置し、食物アレルギーへの対応も向上させていきます。

問 保育ニーズへの対応と保育士の処遇について伺います。

答 令和5年4月に予定している花園保育園の民営化では、0歳児保育の実施と1・2歳児の定員増など低年齢児保育の拡充に加え、市内で最長となる19時半までの延長保育、さらに、市内の保育園等で初めてとなる休日保育を実施する予定です。保育士の処遇については公民格差が生じないよう努めていくとともに、人材の確保に努めていきます。

問 市長公約について伺います。

答 令和4年度ではファミリーサポート事業の充実、夏休みなどの長期休暇中の子どもの居場所づくりの準備、パートナーシップ制度の導入検討、被災地ボランティア派遣事業などのほか、「産業振興会議」など新たな会議体を設置します。今後のビジョンについては、課題を整理し、どのような取組の方がベストかを見極め、早期の実現を目指します。来年度以降はさらなるステップアップが図れるよう努力していきます。



維新・半田市民の会 加藤美幸

さらなる健康づくり推進へ

問 新型コロナウイルス蔓延前と感染拡大中の市民の健康づくりへの取組みの変化は、どのようですか。

答 平成30年と令和2年の各分野の変化の状況は、

- ①5大がん(胃・大腸・乳・子宮・肺)すべての検診受診率が低下。
- ②国民健康保険特定健診受診率は、56.8%から55.8%と低下。
- ③メタボリックシンドローム該当率は、25.3%から26.1%と増加。
- ④3歳児子育て家庭の喫煙率は37.6%から31.7%となるも、目標に及ばず。
- ⑤虫歯のない3歳児率は、90.9%から92.3%に改善。
- ⑥健康はんだマイレージ交付者数1140人から556人と減少。
- ⑦自殺者数は、20人から23人と増加。

問 これまでの事業の評価や課題はどのようですか。

答 感染予防に配慮した事業や電話での相談

を行っていましたが、中止せざるを得なかった事業や、がん検診、特定健診の受診控えもあり、健康づくりの機会は減少しました。今後いかに改善していくかが課題です。

問 機構改革やコロナの健康づくりをどう推進していく考えですか。

答 令和4年4月より、保健師等の専門職を集中配置し、これまで別々だった若年層への健康づくり、国保特定検診・特定保健指導、高齢者の介護予防等を一課で行います。年齢等に関係なく多面的な視点で、切れ目のない連続性のある健康づくり事業を行う考えです。感染予防にも配慮しオンラインや動画配信にも取組みます。

問 健康づくり市民ボランティアとの協働について考えを伺います。

答 地域において栄養教室や健康体操を実施するなど市民の健康を支える重要な役割を担って頂いています。継続的な活動のための養成講座や活動支援などを行い、今後も連携し市民の健康増進に取組む考えです。



チャレンジはんだ 水野尚美

公共空間の利活用

問 図書館博物館の新たな来館者を増やすため、また人の交流が生まれるよう、共有空間において新たな取組みにチャレンジすることを提案しますがいかがですか。

答 様々な世代の方が集う場所として利用していくことは両館の活性化につながるため、共有空間を利用して何かやりたいとの声があれば、新たな取組みとして検討します。

問 コロナ禍で困っている市内事業者などを支援するため、また、「ごん吉くん広場」周辺の空間を来庁者に憩いの場として活用していただくために、庁舎北側空間の活用について、使用料も含め考えを伺います。

答 以前職員駐車場において、テイクアウト事業を使用料無料で支援したことがあるため、庁舎北側の空間も活用していただけるよう市内事業者の皆様を積極的に支援します。また、「ごん吉くん広場」周辺について

は、もっと魅力ある空間にし、より活用が図られるように努めます。

問 公園駐車場でのキッズカーなどの出店について考えを伺います。

答 公園利用者に支障を及ぼさない範囲でキッズカーなどを出店することは可能であり、出店していただける方に向けて積極的にPRします。

問 公園の立地と特性を活かし、人が交流しながら楽しく過ごせるよう、市民と共に新たな憩いの場を創ることが提案しますがいかがですか。

答 公園の活用は多くの可能性を秘めていますので、新たな発想による利用方法について、利用する方の意見も伺いながら共に考え、今後も公園をより有効活用していただくよう取組みます。

問 公共空間の有効活用、協働のまちづくり促進のため「公共空間使用ガイド」の作成を提案しますがいかがですか。

答 利用者目線に立ち、公共空間が一層活用されるようにすることは、市民協働の推進という点からも重要なため、半田市版の「公共空間使用ガイド」を上半期中に作成し広報します。





無所属 鈴木健一

新型コロナウイルス感染拡大について問う

問 半田市内の感染拡大について、現状をどう考えていますか。

答 非常に多くの感染者が幅広い世代で確認されており、全ての世代での感染対策が必要だと考えます。

問 以前から求めてきたPCR検査が県の主導で始まりました。自治体の責任をどう果たしていきますか。

答 医療機関での実施体制が構築されていることから、市独自に検査は行いません。

問 療養施設の必要性についてどう考えていますか。

答 県が県内全体の施設で療養必要者が収容できるよう定員数を確保されています。県内の全療養施設の合計収容定員は2209室であり、収容率は34%で充分余裕があります。

問 半田市、せめて知多半島に療養施設を作らなければならないように思います。半島に療養施設を作らなければならないように思います。半島に療養施設を作らなければならないように思います。

答 県の判断で設置されるものです。県がこの地域には不要と判断したと認識しています。

問 時短営業となつている飲食店の暮らしを守るため、どう取組んでいますか。

答 愛知県より様々な支援金支給の制度があります。半田市としては地域振興券で市内経済の活性化に取組んでいます。

問 市内で閉じてしまつている店に対し、振興券では活性化しないのではありませんか。

答 振興券の使用期限を延長したことで地域の経済の活性化が図られるのではないかと考えます。

市営墓地の在り方を問う

問 市民アンケートの結果をどう分析していますか。

答 基本的な快適性の向上が求められていると考えます。

問 市営墓地の管理料は徴収するべきでないと考えますが、市の考えはどうですか。

答 市民の公平性や受益者負担の観点からできるだけ早く徴収してまいります。



公明党 山田清一

糖尿病の重症化予防

問 半田市国民健康保険における糖尿病患者数および医療費、人工透析患者数および透析に要した医療費、糖尿病が原因で人工透析になった方の割合をお尋ねします。

答 令和3年11月時点で糖尿病患者数は2784人、医療費は1月で約3800万円です。また、人工透析患者数は38人、医療費は1月で約2500万円です。糖尿病が原因で人工透析になった方の割合は約39%です。

問 半田市国民健康保険における糖尿病治療中断者に対する受診勧奨対象者の抽出基準と実施人数をお尋ねします。また、レセプトにより検診未受診者の中から治療中断者を把握し、その方たちへの受診勧奨はできていますか。

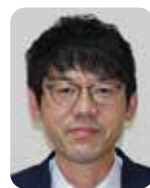
答 現在、治療中断者に対して受診勧奨は実施していません。しかし、今後は特定健診未受診者も含めて、治療中断者に対して抽出基準を定め、医療機関への受診勧奨を進めます。対象者の抽出基準は、「愛知県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」などを参考に定めます。

問 レセプトを最低5年間遡り、治療中断者へ受診勧奨を行うべきではありませんか。

答 これまでは、当該年度の健診結果から糖尿病リスクがある特定健診受診者に対して、医療機関への受診勧奨を実施しました。半田市の糖尿病の1人あたり医療費が国や県と比較して高い状況であり、今後は、国保データベースシステムを活用してレセプトを5年間遡り、特定健診未受診者も含め、医療機関への受診勧奨を実施します。

問 半田市国民健康保険における糖尿病重症化予防に今後どのように取組みますか。

答 糖尿病重症化予防のための講座を開催するなど、予防や治療の重要性の普及に努めます。半田市における糖尿病および人工透析の医療費のデータや課題等の情報、かかりつけ医や糖尿病専門医と共有し、意見交換を行うなど、さらに連携を図ります。



チャレンジはんだ 國弘秀之

地域の繋がりを守るために

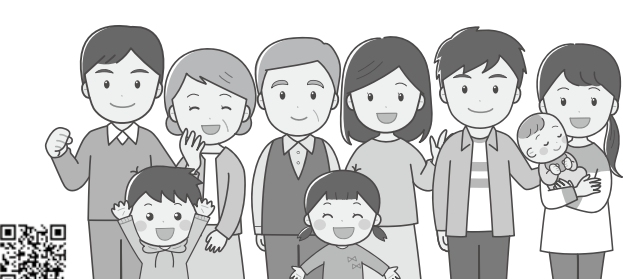
問 自治区の課題について半田市はどのように考えますか。

答 区長始め役員の手不足の解消、役員の業務負担の軽減、無関心の業務に対する自治区加入促進などがあると認識しております。

問 自治区の持続可能性について半田市の考えを伺います。

答 自治区は様々な活動を通じて、支えあいや助け合いに繋げるための組織であり、小学校区コミュニティ組織の構造の基盤となる組織でもあります。令和2年度からは自治区、学校などが地域の活動する関係者が集まり、支えあい、助け合える地域であり続けるために話し合う場を設けております。自治区が地域活動を見直し、持続可能な地域の方向性を導き出したる機会としていただくとともに、小学校区コミュニティ組織構築へ繋げていきたいと考えます。

問 コロナ禍に伴う様々な行事の中止は、自治区の運営にも大きな影響を与えていると考えますが、ウイズコロナにおける自治区の運営や維持に対してどのような手助けを行いますか。





創造みらい半田 竹内 功治

ヒアリやエキノコックス症に対する現状と対策

有毒な蟻のヒアリは刺されると火傷のよう...

ヒアリの情報や対策について市ホームページで...

市ホームページの更新が滞っています...

市内にヒアリが生息している可能性があれば、対策の強化を図ります...

は過去5年間で5件の野犬から発見されています...

知多半島内での感染は確認されていません...

自治区の防災訓練の実施状況を伺います...

コロナ禍前の令和元年度は58件の訓練が実施されました...

これらの防災訓練はコロナ禍を想定して...

備蓄品の確保は進んでいます...

リポート訓練を実施しました...



志民ネット 小出 義一

半田の歴史に学ぶ チャレンジとは

新しい都市像を先人たちの情熱と挑戦する心に学ぶ...

酒造りには、新田開発や千石船での海運輸送...

赤レンガ建物建設、ドイツ人技師を招聘して...

赤レンガ建物のカプトビルは、鉄道輸送が始まった時代...

カプトビルが創業したころは、東海道線開通により...

今後高齢化が進み、少子化・核家族化にも向き合う必要...

課題に沿って部課の再編や機構改革を実施していきます...

久世市長は、「市民の幸せ」を市政の目標にしている...

現在、部長はじめ職員と考え方を共有しながら...



半田赤レンガ建物に設置された広告塔



創造みらい半田 芳金 秀展

中心市街地の今後

名鉄知多半田駅周辺の賑わいづくりにおいて、今後のビジョン...

平成27年度の土地区画整理事業以後、都市基盤の整備はできているものの...

民間事業者や地元商店街など地域の関係者を連携し...

JR半田駅周辺の賑わいづくりにおいて、今後のビジョン...

現在、土地区画整理事業を行いながら、地元住民による...

「カトリックセンター」などにおいて、今後のまちづくりについて検討を行っております...

イドゥ辿る足跡（そくせき）、挑む未来」として掲げ、今後も...

「リノベーションまちづくり」という、都市再生の手法が効果的だと考えますが...

人材の発掘という課題に対し「ハンドガタリバ」などに...

「リノベーションまちづくり」とは、事業者オーナーと遊休不動産を持つ不動産オーナー...

「リノベーション」に取組む手法。まちの新たな担い手を育成する事業も含まれる。





志民ネット 中村和也

動物愛護管理推進計画に基づく市の施策

問 犬猫へのマイクログリップ装着に対する理解促進、普及促進、さらには所有者情報登録についての市民への周知方法体制はどうなっていますか。

答 半田市ホームページやチラシ、さらには半田市LINE公式アカウントや市報などで広く多くの方に制度を知ってもらえるよう努めています。

問 「野良猫に対する地域猫活動ガイドライン」の現状評価と、地域猫活動をする人の中でも特に「キャットサポーター」と言われる人の登録数はいかに増えていますか。

答 野良猫による被害や住民間トラブルを地域の課題として、地域住民が主体となって解決を目指す「地域猫活動」の手順他、猫の習性や適正な飼い方などが記載され、多くの方が猫に対する理解を深め、有効に活用いただけるものと考えていますので、より多く

の市民にガイドラインを見ていただけるよう努めていきます。また、キャットサポーターの登録数は令和4年1月末時点で19人です。

問 野良猫問題を解決するためには、特に困っている方々にキャットサポーターとして登録いただき、登録数を増やしていくことが必要と考えますがいかがですか。

答 より多くの方に登録を推進されたいと考えています。受けられる支援やメリットをお伝えしながら全市民的に活動を広げていきます。

防災情報の伝達強化

問 防災行政無線が聞こえないという問題に対して戸別受信機を必要としている家庭に配布もしくは購入できる仕組みが必要と考えますがいかがですか。

答 戸別受信機を普及していく考えはありません。防災行政無線を整備してから10年が経過し、見直しの時期にきています。市民に情報が届き、安心して生活が送れるように、複数ある受信手段を周知していくとともに、啓発に努めていきます。



令和4年第2回臨時会(1月31日)審議結果

全会一致の案件

Table with 2 columns: 議案番号等, 議案名. Contains 3 items regarding budget corrections and lawsuits.

賛否の分かれた案件

Table with columns for council members and a row for 議案2 regarding budget corrections. Includes a legend for voting symbols.

反対討論

議案2号に反対

中川健一議員

半田市独自の子育て給付金を支給する家庭のモデルは児童2人、年収103万円以下の配偶者を扶養している4人家族の場合、目安となる世帯主の年収は960万円以上です。コロナ禍で来月の生活も見えない生活困窮者へ市独自の支援も行わず、年収960万円を超える比較的豊かな子育て世帯へ10万円支給を優先する理由が理解できません。



令和4年第3回定例会(2月21日～3月25日)審議結果

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
議案 5	令和3年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計補正予算第2号(年度内の完了が見込めなくなった事業の繰り越しなど)
議案 6	令和3年度半田市JR半田駅前土地区画整理事業特別会計補正予算第2号(年度内の完了が見込めなくなった事業の繰り越しなど)
議案 7	令和3年度半田市駐車場事業特別会計補正予算第2号(雁宿駐車場使用料の減収により、一般財源からの繰り入れを増額するもの)
議案 8	令和3年度半田市モーターボート競走事業特別会計補正予算第1号(モーターボート競走事業において、歳入の増によるもの)
議案 9	令和3年度半田市国民健康保険事業特別会計補正予算第3号(上半期の給付費が予算額を上回る伸びとなり今後の保険給付支払いに不足が見込まれるため)
議案 10	令和3年度半田市介護保険事業特別会計補正予算第3号(前年度繰越金の確定に伴うもの)
議案 11	令和3年度半田市立半田病院事業会計補正予算第4号(市民からの寄付による増額によるもの)
議案 12	令和3年度半田市下水道事業会計補正予算第3号(使用料システム改修業務を実施しないことによる委託料の減額など)
議案 14	令和4年度半田市乙川中部土地区画整理事業特別会計予算(跨線橋の上部工の整備など)
議案 17	令和4年度半田市モーターボート競走事業特別会計予算(モーターボート競走の開催によるもの)
議案 18	令和4年度半田市国民健康保険事業特別会計予算(被保険者に対し、疾病・負傷・出産又は死亡に関して必要な給付を行い社会保障及び健康の保持増進を図るもの)
議案 19	令和4年度半田市介護保険事業特別会計予算(介護が必要になっても住み慣れた地域での生活が安心して続けられるよう介護保険サービスを運営するもの)
議案 21	令和4年度半田市立半田病院事業会計予算(高度医療機器の購入整備と医療サービスの質向上を図り専門的で適切な医療提供を維持する)
議案 22	令和4年度半田市水道事業会計予算(引き続き、水道施設の耐震補強を進めるなど)
議案 24	半田市個人情報保護条例の一部改正について(デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に伴う関係条例の改正)
議案 25	半田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について(育児等と仕事の両立支援を目的とする関係条例の改正)
議案 26	半田市教育基金の設置および管理に関する条例の一部改正について(教育に関する寄附をいただいた際に、より有効に活用していくことを目的とし、広く教育関係事業の財源として充当できるよう改正するもの)
議案 27	半田市クリーンセンター条例の全部改正について(クリーンセンターがリサイクルセンターへ名称変更)
議案 28	半田市立保育所条例の一部改正について(令和5年4月1日から市立花園保育園を民間の新設保育園として開園することに伴い、令和5年3月31日に廃止するため条例の一部を改正するもの)
議案 29	半田市精神障がい者医療費の助成に関する条例の一部改正について(精神障がい者医療費助成制度のうち、『償還払い方式』を採用している全疾患の入通院医療費について、『現物給付方式』に改正するもの)
議案 30	半田市国民健康保険税条例の一部改正について(令和3年6月に健康保険法等の一部を改正する法律が公布され、未就学児に係る国保税の均等割額について5割軽減を行うこととなったため、条例の一部を改正するもの)
議案 31	半田市消防団条例の一部改正について(消防団員の処遇改善を目的とした報酬等の基準に合わせた関係条例の改正)
議案 32	半田市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について(消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の改正に伴う関係条例の改正)
議案 33	半田市道路占用料条例等の一部改正について(愛知県が道路占用料条例の一部を改正したことに伴うもの)
議案 34	知多都市計画JR半田駅前地区計画の区域内における建築物等の制限に関する条例の制定について(風俗店の立地規制をするもの)

議案 35	市道路線の廃止について（高根21号線など4路線を廃止）
議案 36	市道路線の認定について（柘48号線など10路線を認定）
決議案 1	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議（ロシアによるウクライナへ軍事侵攻や核兵器の使用を示唆する行いに対して抗議し国際法に基づく誠実な対応を求める）
議員提出 1	半田市議会委員会条例の一部改正について（機構改革に伴い各常任委員会の所管を整理するもの）

■その他の案件

議案 番号等	議案名（ ）内は議案の補足説明です。
	各常任委員会における閉会中の調査事項について（半田市事務分掌条例の一部改正に伴い、各常任委員会における調査事項の一部を改正するもの）
	常任委委員会の中間報告について（総務委員会の活動報告※内容は13ページに掲載）

■賛否の分かれた案件

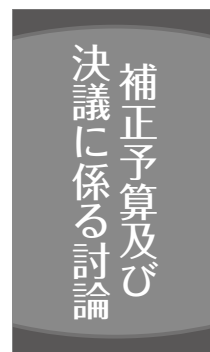
議案 番号等	議案名 () 内は議案の補足説明です。	議決結果																																		
		創造 みらい 半田	公明 党	志民 ネット	チャ レンジ はんだ	維新 ・半田 市民の 会	自民 クラブ	無所 属	議決 結果	渡邊 昭司	芳金 秀展	鈴木 幸彦	岩田 玲子	竹内 功治	沢田 清勝	石川 英之	山田 清一	坂井 美穂	山本 半治	小栗 佳仁	小出 和也	水野 義一	伊藤 尚美	國弘 正興	加藤 秀之	中川 美幸	新保 健一	嶋崎 昌弘	鈴木 健一							
議案 4	令和3年度半田市一般会計補正予算第13号 (総務：本補正予算で生じた一般財源を、財政調整基金積立金に積み立てるものなど 文教：「障がい者医療費助成事業」、「障がい者等自立支援事業」、「国民健康保険費」、「子ども医療費助成事業」が見込み以上に増額となったなど 建設：鶏舎建設工事への支援など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決				
議案 13	令和4年度半田市一般会計予算 (総務：機構改革によるデジタル化を進めるため予算など 文教：亀崎小学校改築のための基本設計費など 建設：ごみステーションのごみ収集など)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決			
議案 15	令和4年度半田市J R半田駅前土地区画整理事業特別会計予算（引き続き、建物移転を進めるなど）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決		
議案 16	令和4年度半田市駐車場事業特別会計予算(一般会計から613万円を繰り入れ、駐車場を管理するもの)	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決	
議案 20	令和4年度半田市後期高齢者医療事業特別会計予算（75歳以上の高齢者及び65歳以上74歳以下で一定の障がいのある方を対象とした医療事業など）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決	
議案 23	令和4年度半田市下水道事業会計予算（下水道への接続世帯増により、2500万円の増収など）	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	原案 可決

(表の見方) 議は議長(採決に加わらない)、○は賛成の議員、●は反対の議員、退は退席の議員、欠は欠席の議員



鈴木健一議員
 財界の求めに応じ国民の税・社会保障を一体的に管理し社会保障を自己責任の制度に後退させるマイナンバー制度には賛成できません。
 2月24日に始まったロシアによる軍事侵攻は、紛れもなく侵略行為であり、国連憲章に照らして断じて許されぬものです。ロシアと同じ土俵にのることなく、平和秩序を回復することが大切です。

議案4号に反対・決議案1号に賛成



3月定例会より

決議案を全会一致で可決しました!

決議案1号「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について」

※決議とは、議会の意思を対外的に示す目的等で行われる議決のことです。

令和4年3月3日(木)開催の本会議(令和4年第3回定例会)において、ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する議員発議の決議案を全会一致により可決したことに加え、日本政府へ決議書を送付しました。

決議では、「ロシアによるウクライナへの攻撃や核兵器の使用を示唆する行いに対し厳重に抗議の意を表するとともに、ロシア軍を完全かつ無条件で即時に撤退させるよう、国際法に基づく誠意を持った対応を強く求める」と訴えました。

また、ロシア連邦のウクライナ侵攻に対する抗議文も半田市長と半田市議会議長の連名でロシア連邦大統領宛に送付しました。

令和4年第4回臨時会(3月31日)審議結果

■全会一致の案件

議案番号等	議案名 ()内は議案の補足説明です。
議案37	令和3年度半田市一般会計補正予算第14号 (子育て世帯への新型コロナウイルス感染症対策事業費の支払いが、4月以降となるため繰越明許費の設定をするもの)
議案38	令和4年度半田市一般会計補正予算第1号 (がん患者のアピアランスケア用品(ウィッグ・乳房補正具等)の購入費用の一部を助成し、がん患者の精神的・身体的・経済的負担を緩和するものなど)
議案39	半田市市税条例等の一部改正について (関係する法律の改正に伴う条文整理)
議案40	半田市国民健康保険税条例の一部改正について (将来的な中間所得層の税の負担軽減を図るため、課税限度額を法定限度額と同額にするもの)

新年度予算案の審査から

3月定例会では新年度の予算について適正に審査を行いました。
委員会ではどのような質疑が交わされているのか、その一部をお知らせします。

総務委員会

若者市民協働意識醸成事業

問 若者市民協働意識醸成事業は、高校生を対象に市民協働や社会参画の意識醸成を図る新たな取り組みですが、具体的にどのような進め方になりますか。

答 市民活動団体3団体程度がそれぞれ自分たちの活動を高校生にプレゼンテーションを行います。この事業に協賛いただける市内事業者、概ね3者程度を想定しており、各事業者10万円、総額30万円をご提供いただき、プレゼンテーションの結果、得票数に応じて協賛金が按分され団体に提供される仕組みです。高校生は、こうした経験をきっかけに、将来、本市のまちづくりに関わるような人材への成長に繋がることを目指します。

市民協議会

問 令和4年度は準備委員会ですが、討議会実施の狙いは何ですか。

答 現在、市の広聴ツールは「市長への手紙」「住民要望」「パブリックコメント」など、その多くは「個の意見」を聴く手法です。「市民協議会」は無作為で選ばれた市民が地域問題など政策課題を討議、合意形成のなされた意見を市政に提言する仕組みであり、住民参加型の広聴手法を実践し、市政に反映していくことを狙いとしています。

市立平田病院

問 新病院建設費、新病院建設支援業務委託料について、令和7年度までの継続事業ですが、進捗状況と令和4年度の業務はどのような内容ですか。

答 現在、移転後の運用、ビジョンに重点を置き進めています。例えば、外来患者の来院・受診・帰宅までの最適な動線などを検討し、配置の変更などを行ってききました。令和4年度は作成した実施設計を基に、運用方法及び職員数と職員配置の最適化のプラン作成を委託します。



総務委員会の様子

文教厚生委員会

地域福祉推進事業

問 アウトリーチ継続的支援事業について、複合的課題を抱える方などに対する訪問相談支援を行う、コミュニケーションソーシャルワーカーの人員を増配する考えはありますか。また、重層的支援体制整備事業の本格実施となる令和5年度に向けて、どのような取組みを行っていきますか。

答 令和3年度の実績をみると、現体制では人員不足であると考えていますので、令和5年度に向けて適正な人員配置を検討していきます。また、教育部門との連携も重要であると考えていますので、併せて調整を進めていきます。

ファミリーサポート 利用促進事業

問 1歳6ヶ月検診時に2時間分の無料券を配付することで利用者が増え、援助会員が不足する事態が想定されますが、どのように対応していきますか。

答 援助活動に対する謝金の引き上げや、活動時の安全性の向上などの改善策を講じつつ、幅広い世代の方に対して改めて勧誘活動を実施していきます。

ICT教育推進事業

問 取組み内容と実施目的はどのようなのですか。

答 令和4年度は、半田市の現状分析を行い、半田市にふさわしい教育DX（デジタルトランスフォーメーション）について調査研究を進めます。目的は、「タブレット

端末の安心・安全な活用」、「学校でのデジタル化・クラウド化」、「学校での先端技術の効果的な活用」の実現を目指します。



文教厚生委員会の様子

建設産業委員会

個人番号カード 交付事業

問 個人番号カード交付事業について、普及率が低い世代に対し、今後どのように普及啓発を行っていきますか。

答 半田市では、20歳未満の方と75歳以上の方の普及率が低いため、高齢者施設や児童センターなど、ターゲットとする年齢層を絞った場所以外に出張申請窓口を開設し、効果的な普及促進に努めます。

中心市街地活性化 支援事業

問 知多半田駅前の活性化のためには、駅を利用しない方にも知多半田駅に足を運んでもらえるような取組みが必要であると考えますが、具体的な方策はありますか。

答 にぎわいの創出につながる取組みとして、何が効果的なのかを検証するために、知多半田駅前のロータリーにある空きスペースを利用し、キッチンカーを設置するなど、実験的な取組みを行っています。平日は、乗降客が足を止

めてくれるような取組み、休日には、乗降客以外の方にも足を運んでもらえるよう、知多半田駅周辺に行けば何かイベントがあるといった意識づけができればと考えています。

ごみ減量対策事業

問 市長選挙公約には「市民の協力への還元とし、一定の条件を設けたうえで、指定ごみ袋の無料配布をします。」とあったが、令和4年度予算に反映されていない理由は何か。

答 令和3年度のごみ量の実績を基準として、目標を設定し、令和4年度のごみ量が目標を下回った場合に、令和5年度以降に指定資源回収袋を全世帯に配布することを検討しています。

地産地消費及事業

問 市民農園の年間使用料6千円を、令和4年度から1万円に増額する理由は何ですか。

答 市民農園の維持管理は、利用者の使用料を財源とし、民間事業者に委託していますが、民間事業者の人件費等の高騰など、市民農園の維



建設産業委員会の様子

新年度予算 に係る討論

議案13・20号に反対

鈴木健一議員

議案13号について、住民

サービスの低下に繋がる可能性のある期末手当の引き下げは見直すべきです。また個人番号カード事業、保育園の給食調理等委託事業も賛成できないため、反対です。

議案第20号について、均等割り前年度より63円上がることで市民の負担が増えるため反対とし、後期高齢者制度の廃止を求めます。

議案13・15・16・23号 に反対

中川健一議員

東洋経済住みよさランキング愛知県2021年では刈谷市5位、東海市6位、大府市7位、半田市10位でした。人口や人口一人当たり家計所得は近隣の東海市や大府市、刈谷市と比較すると、今期も半田市は長期停滞、低落傾向にあります。この責任は榊原純夫前市長にあります。久世市長のこれからのリーダーシップに期待しています。

総務委員会
活動報告
(要旨)

調査テーマ

「行政における民間人材の活用について」

半田市において主な人事のあり方は、新卒で採用した職員を育成し、定期的に人事異動を重ね定年まで働く、自治体人事運営が主体となっています。しかし、多様化する住民ニーズへの対応や、情報通信技術の発展と日々進化するテクノロジーの活用など、求められる専門性は年々高まっています。

例えば自治体DXなど新たな行政需要に関する業務については、自治体内部に当該業務の専門家は存在しないため、民間の高度専門人材を採用・活用している自治体が増えており、民間人材の活用に関して調査研究しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、WEB会議システムを活用し、獨協大学の

谷基道教授からリモートによる講義を受け、奈良県生駒市、静岡県浜松市へのリモートによる行政視察を行い取り組みの経緯や効果、課題等をお聴きしました。

その後、委員会での議論を重ね、民間人材を活用することは、無限の可能性を秘めており、半田市においても積極的に推進すべきであり、次のとおり提言いたします。

1. 民間人材の獲得について

任期付職員(3条)、副業・兼業を前提とした民間人材を数多くの応募者の中から半田市にとって最適な人材を採用できるような人材サービス企業の採用支援スキーム(枠組み)を活用すること。

2. 募集・採用について

民間人材の採用は手段であって目的ではありません。その能力を必要とする業務の目指すべきゴールや獲得した人材に求める能力、任用内容、雇用形態な

ど詳細を明文化し、採用時に齟齬が生じないよう募集要項に記載すること。

3. 民間人材が力を発揮できる職場環境について

市役所と民間人材の業務スキームや考え方の違いにより、民間人材が壁にぶつかることがないように、責任を持ってサポートをしていく体制を構築すること。

4. 民間人材の知見と業務スキームを取り入れることによる組織改善について

民間人材を獲得することで、その能力とともに、その人材の知見や経験から得てきた民間企業のノウハウや業務スキームを自治体業務に取り入れることができます。専門人材の能力を取りこぼすことなく、業務の改善・刷新や職員の能力開発に役立て、住民福祉の更なる向上を推進してください。

議会運営委員会
活動報告
(要旨)

調査テーマ

「議員定数等の適正について」

前回の市議会議員選挙における立候補者数や議員欠員での各委員会等の運営に対して、特に問題が生じなかったことなどから議員定数の適正を調査する提案がありました。そこで議会自ら議員定数等の適正を議論すべきとの判断から、「議員定数等の適正について」の調査を行いました。委員からの主な意見として、

- ・ 各地域の市民の声を聞くため、現状の人数は必要ではないか。
- ・ 市議会議員の職務の基本は市政のチェックであり、現状の人数は必要なのだろうか。
- ・ 補欠選挙前は定数1名減の21名だったが、委員会での支障は感じなかった。
- ・ 市民から現状の定数に対する否定的な意見は聞かえてこない。
- ・ 定数を削減すると当選票数が上がるため、新人が立候補しにくい状況にならないか。
- ・ 議員定数を削減した際のメリットやデメリットを考える必要があるのではないか。
- ・ 大幅に議員数を減らし、報酬を上げてはどうか。
- ・ 仮に大幅に議員数を減らしても報酬審議会の判断や近隣自治体の状況等から、報酬を上げるとは難しいのではないか。
- ・ 他の自治体と比べると、半田市の議員定数は少ない。
- ・ 半田市の状況から議員定数を考えるべきであり、他の自治体との状況の違いは、あくまで参考程度に留めておくべきではないか。
- ・ 半田市の財政状況から判断して、議員定数の増減を考えることが必要ではないか。
- ・ 議員定数の議論を行うために、まずは議会の見える化を行うべきではないか。
- ・ 第三者委員会等を設置して、議員定数等の適正を議論してもよいのではないか。
- ・ 議員定数の適正について、市民の誰もが納得できる根拠など難しくないか。
- ・ 現在の議員定数で上手くいっていると考えており、早急に議員定数の増減を考える必要はないのではないか。

総括しますと、議員定数等の適正について委員から様々な意見があるため、今すぐに議員定数の増減を判断することは時期尚早と考えます。現段階において、少なくとも問題にはなっていないと見えます。しかし今後、半田市の税収や人口が大幅に変化した場合、改めて検証する必要があります。また今回のように、ある程度の期間ごとで議会内において、議員定数の適正について検証を行うべきと考えます。

以上、議会運営委員会の活動報告とします。

● 第30回 議会報告会のYouTube配信について ●

第30回 議会報告会「市民と議会のつどい」を動画配信サイトYouTubeで配信します。今回は、3月定例会で審議した令和4年度新年度予算について、審査の概要やポイントをわかりやすくお伝えします。議会報告会をご覧いただき議会を身近に感じていただけたら幸いです。

5月中旬ごろから配信予定です。どうぞご覧ください。



半田市議会
議会報告会へ

今後の本会議の開催予定

5月臨時会の日程

5月18日(水)・5月19日(木)

6月定例会の日程

6月14日(火)から6月24日(金)

※会期中の日程は約一週間前の会議で決定します



議会本会議の予定へ

あとがき

令和3年度の市議会だよりも本号が最後となります。どうすれば多くのみなさんに市議会の活動内容を知っていただけるか、限られた予算、紙面の中で、苦悶しながらこの一年間、取り組んできました。

今年度は色を変えてみたり、写真を多く使ったりしてみました。今後は、議員の紹介など、新しい企画もスタートします。

次号から広報委員のメンバーがかわりますが、これからも市議会と市民の架け橋、はんだ市議会だよりをよろしく願います。

広報委員会

委員長 小出 義一

副委員長 鈴木 健一

委員 嶋崎昌弘／山田清一

中川健一／澤田 勝

編集・発行 半田市議会

〒475-8666

半田市東洋町2-1

TEL 0569-84-0694

FAX 0569-24-7185

E-mail : giji@city.handa.lg.jp



QRコードは勝デンソーウェブの登録商標です。

半田市議会へ